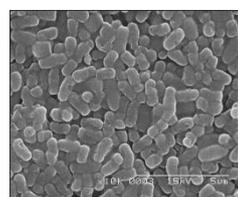


自社バラ園で独自栽培のバラ花卉×乳酸菌 HOKKAIDO 株[®]から 世界初※ハイブリッドローズ「月光」発酵成分を開発

ニトロ化物分解やアポトーシス抑制など7つの効果を確認

株式会社ナリス化粧品（代表者：村岡弘義 本社：大阪市福島区）は、世界で初めてハイブリッドローズの「月光」と乳酸菌の HOKKAIDO 株[®]から作ったバラの発酵エキス（表示名：乳酸桿菌/ハイブリッドローズ花エキス発酵液）を開発することに成功しました。化粧品成分の国際共通表示名称 INCI では、「LACTOBACILLUS/ROSA HYBRID FLOWER EXTRACT FERMENT FILTRATE」と登録された月光発酵エキスには肌の濁りの要因であるニトロ化物を分解する



北海道立総合研究機構提供

効果や過剰なアポトーシス（細胞死）を抑制する効果など複数の効果が認められましたので以下にその内容をまとめます。※世界初：

INCI(International Nomenclature of Cosmetic Ingredients 化粧品原料国際命名法)に新規登録

された「乳酸桿菌/ハイブリッドローズ花エキス発酵液」を配合した化粧品として



宮城県登米市ナリス ローズガーデンで撮影した「月光」

【研究の背景】

当社は 1992 年にバラが持つ肌の老化対策に関わる研究で社団法人大阪工研協会から「工業技術賞」を受賞するなどバラの研究について 30 年以上の知見を蓄積しています。今では 9 種類のバラの花弁から採取したオリジナル成分を開発するほど、バラの研究に注力しており、花弁の色によって肌に与える効果が異なることを明らかにしています。これまでの研究で黄色のハイブリッドローズには、弾力成分の分解酵素を阻害する効果があることを突き止めており、交配が難しく、1/1000 の確率でしか発芽しないとも言われる黄色のハイブリッドローズの中で、花色、花形、香りの 3 拍子の揃った美しい「月光」には、特別な有効性があるのではないかと考えていました。北海道の寒冷の地でも生き抜く生命力を持つ乳酸菌と掛け合わせることで月光にさらなる力を吹きこむことができる可能性があると考え、これらを掛け合わせた新成分の開発に取り組みました。

【自社栽培バラの研究で判明した7つの効果】

宮城県登米市の自社バラ園で栽培を行い3年かけた研究の結果、「月光」には単独でも角層部分でニトロ基と角層タンパク質が結合して起こる肌の黄ばみの一因となる現象であるニトロ化を抑制する効果、ニトロ化物を分解する効果、紫外線などで過剰



ニトロ化前

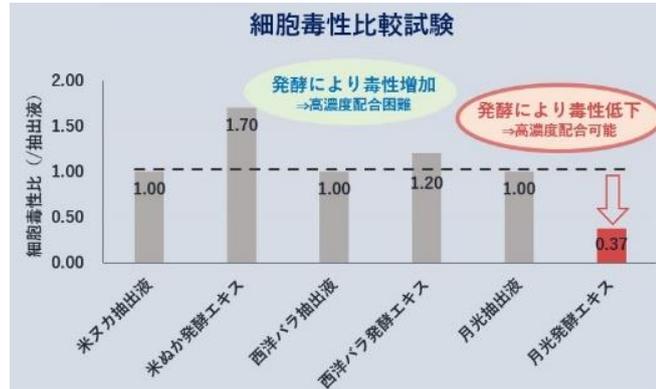
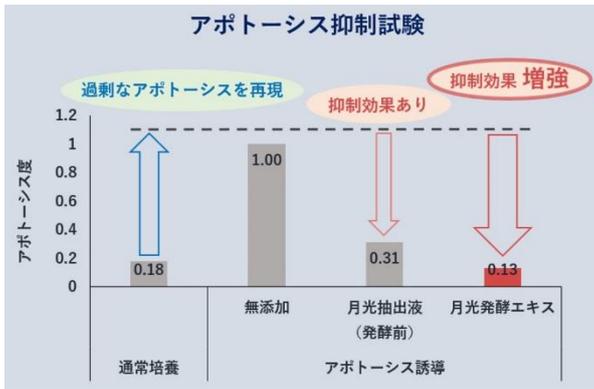
ニトロ化後

に誘導されることで肌の異常な角化や肌荒れの原因となるアポトーシス（細胞死）を抑制する効果、細胞毒性を低減させる効果、糖化物を分解し、糖化を抑制する効果、角層細胞の接着因子の分解を抑制し正常な角層剥離が行われなくなるカルボニル化を抑制する効果があることがわかりました。

【発酵によって増強された3つの効果】

月光と乳酸菌の HOKKAIDO 株[®]を掛け合わせて確認したところ、7つの効果のうち、ニトロ化物分解、アポトーシス抑制、低細胞毒性の3つにおいて、その効果が発酵により著しく増強することがわかりました。また糖化物分解効果、糖化抑制効果、カルボニル化抑制効果、ニトロ化抑制効果についても発酵させることでその効果が減少することではなく、同等以上の効果を持つこともわかりました。これらの結果から、複数のアンチエイジング効果を持ち高濃度配合が可能な成分の開発が実現しました。（アポトーシス抑制、低細胞毒性の効果については次頁に示しています。）





■研究者 プロフィール



株式会社ナリス化粧品 研究開発部 佐藤裕太

2018年入社

入社以来、研究開発部で皮膚の抗老化研究やバラを中心とした植物由来成分の探求に従事。核ミナ研究や素材発酵技術の第一人者として、成分のコンセプトづくりや素材の提供に基礎研究から携わっている。

研究者コメント

(ナリス化粧品 研究開発部 佐藤裕太)

当社はこれまで糖化やカルボニル化など多くの細胞の老化による変化の研究を行ってきましたが、中でもニトロ化については2020年に開催された化粧品技術者の国際学会 IFSCC Congress で発表するなど特に注力してきた分野です。私自身は入社以来7年バラの研究をしていますが、今回の成分は当社が研究してきたアンチエイジング研究の中でも、対処が難しい複合的な肌悩みに対しマルチな効果を発揮できるため、バラに秘められた「美」の力をこれまで以上に幅広いユーザーにお届けできると確信しています。

【追加資料】

